

豊正だより

第5号

令和6年10月22日発行

名古屋市立豊正中学校

10月3日に体育大会を無事に終えることができました。天気が心配される中の開催となり、保護者の皆様にもご心配をおかけし申し訳ございませんでした。当日は多くの方々に来ていただき、本当にありがとうございました。家の中では見られないお子様の様子も伝わったことと思います。

今回の体育大会は、本当に生徒の皆さんのスムーズな動きに助けられることが多く、運営していた職員も、生徒たちへの感謝の気持ちでいっぱいです。応援団は演舞の仕方を生徒が学習者用タブレット

学年の枠を越えて代表生徒が熱心に応援団の説明をしている様子



体育大会当日の応援団の演舞

トを見ながら家庭等で練習してきて、全体練習で合わせるという形を例年としています。今年も自主的に練習をしてきたと思われる生徒ばかりで練習がスムーズに進みました。

また、応援団長・代表応援団生徒がすばらしいリーダーシップを発揮して、全体練習を取りまとめていました。演舞もさることながら、練習風景もまた保護者の方々にも見てほしいと思うぐらいに一体感のあるものでした。

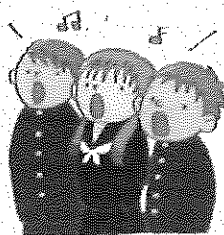
体育大会の競技の際も、職員が指示していなくても生徒は自分の座席に座って、出場する仲間の名前が放送でコールされると喝采を挙げたり、大きな声で応援したりしていました。招集や役割を忘れてしまつて競技の進行に影響を与えるといったこともありませんでした。当たり前のことのように思われるかもしれませんが、ここまでしっかりと競技を行うことができるのは豊正中学校の生徒の強みです。こんな強みが2日後の文化祭でも見られることと思います。



歌声に思いを乗せて練習してます



10月24日(木)に文化祭が行われます。その中で合唱コンクールも行われます。すでにお知らせしてあるとおり会場は岡谷鋼機名古屋公会堂(名古屋市公会堂)となります。豊正中学校としても初めて学校外の会場で文化祭を行うことになりました。コンサートも開かれる大きなホールで、生徒の皆さんにも是非すばらしい合唱を披露してほしいと思います。



現在、各学級では合唱の発表に向けて朝の時間や授業後に練習を盛んに行っています。音楽の授業も体育館で行って大ホールでの発表に備えています。音楽室や体育館を授業後に割り当て練習をしています。他学年の学級とも積極的に交流し合いながら、下級生は上級生の歌声に学び、上級生は下級生の歌う姿にかつての自分たちの様子を重ね合わせて鑑賞しています。双方が歌い終えた後は、上級生・下級生関係なく互いに合唱のアドバイスをし、頑張りをたたえ合う姿

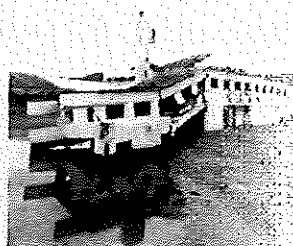
があちこちで見られます。ご家庭でも、練習の様子を話題にさせていただき、励ましの言葉を是非かけていただけたらと思います。文化祭として、合唱部・美術部・文化研究部の成果発表や作品展示も実施されます。是非お楽しみください。

ちなみに岡谷鋼機名古屋公会堂は、1930年に建築が完成した建物で国の有形文化物にも指定されています。建物の中も外見も重厚な雰囲気です。是非普段味わうことができない様子もお楽しみください。

陸前高田市絆交流団生徒発表を行いました

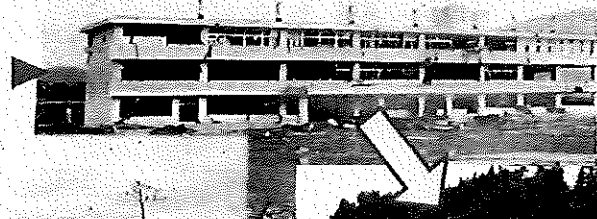
死者・行方不明者を19,000人あまり出した東日本大震災から13年経ちました。名古屋市は被災自治体の一つである岩手県陸前高田市の行政支援を行い、両方の市の中学生の代表者が毎年交流を行っています。今年は2年生の

さんが8月に本校を代表して絆交流団に参加してきました。そして村居さんは右にあるタイトルで、交流団で学んだことを9月17日に全校発表しました。



東日本大震災から私たちが学ぶべきもの

校舎3階まで津波に襲われた気仙中学校
現在は震災遺構になっている



陸前高田市にある「奇跡の一本松」と交流団生徒



最初に避難した場所から小高い丘へ避難先を変更したため、授業中の生徒がいたにもかかわらず死者ゼロにできた

住民の避難指示を出していた際に津波に襲われた消防団の車。誘導していた消防団員にも死者が出た



発表者からは以下にあるような話もありました。将来起こるかもしれない災害への備えにもなりますので参考にしましょう。

豊正中学校でも年に3回の避難訓練を行っています...

- 同じ訓練を繰り返すことで動きは定着するものの、慣れることで真剣みに欠けてきます。
- 震災は全員そろっているときに起こるとは限りません。いつでもどこでも生徒それぞれが自ら判断して対応できるようにしていく必要があります。
- 避難した後も様々な葛藤が生まれます。普段から必要なことや課題を見据え、素早く判断できることが大切です。

(外国の方で学校配布の文書を読み取ることが難しい場合は、翻訳アプリを用いて読んでください。分からないことはご遠慮なくお尋ねください)

If it's difficult to understand letters from us, please use translation applications. Don't hesitate to ask us.

很難理解我們的信的話、請使用翻譯軟件。請不要猶豫提問。